

令和6年度 中央区立城東小学校 学校経営計画

中央区立城東小学校
校長 平山 尚彦

1 教育目標

中央区教育委員会の教育目標を受け、人権尊重の精神に基づいた国家社会の一員としての自覚をもち、心身ともに健康で、勤労と責任を重んじ、広く国際社会において信頼と尊敬を得られる人間性豊かな日本人を育てることを目指して、次の目標を掲げ学校教育を推進する。

- 心豊かで思いやりのある子
- 自ら考え学ぼうとする子
- 進んで正しいことをする子
- 最後までねばり強くがんばる子
- 健康に気をつけ体をきたえる子

2 学校経営の基本方針

子どもが笑顔で通える学校 ～ つながりを大切に

子どもが笑顔で学校に通う姿、それは子ども自身のみならず、保護者や教職員、地域の人の願いである。笑顔であふれる学校であるためには、子どもたちが豊かな人間関係の中で、学ぶ楽しさを実感できる学校生活を送れることが必要である。

八重洲、日本橋、京橋の町に立地する本校は、地域の学校として長年にわたり町会や企業をはじめとした地元の皆様から大切に支え、守っていただきながら今日に至っている。また、小規模・少人数の学校であった本校に培われた校風として、学年を超えたつながり、地域の方々とのつながりの強さと深さがある。中央区の特認校として、区内全域から子どもたちが通う本校において、このよき校風が在校中はもちろん、卒業後も子どもたち一人一人、また在校生や学校を支える大きな力となっている。この学校と地域を基盤とした人と人とのつながりを、今後児童数が増えていく中でもしっかりと築いていきたい。

併せて公立学校として、将来の社会を担う子どもたちに、基礎的・基本的な知識や技能、思考力・判断力・表現力等の確かな学力、学びに向かう態度をしっかりと育てていかねばならない。また、中央区理数教育パイロット校である本校は、子どもたちに将来にわたって生きる科学的・数学的な素養を育てていくことと同時に、中央区内の理数教育の推進に資する役割も担っている。

以上のことを踏まえ、子どもたちの確かな学力、豊かな心と人間関係を育てていくために以下のことに重点を置き教育活動の充実に取り組む。

3 重点目標と取組内容

(1) 確かな学力の定着と伸長

①中央区理数教育パイロット校としての取組

体験的活動や問題解決型学習の充実を通して、自然の事物・現象や日常の事象に対する興味・関心、科学的・数理的な視点や手法を用いて問題を解決したり、自らの生活や社会を豊かにしていこうとしたりする、科学的・数学的な素養を育てる。

②基礎・基本の定着と思考力・判断力・表現力の伸長

教員個々や組織としての研究活動を通して、授業内容の充実に努めるとともに、補習授業などの個に応じた指導に取り組み、基礎・基本となる知識や技能の定着と思考力・判断力・表現力等の伸長を図る。

(2) 豊かな心と人間関係の涵養

①あいさつから始まる気持ちのよい学校生活

人間関係の始まりとなる気持ちのよいあいさつと言葉遣いを励行し、校内の全ての人々が明るい気持ちで生活することを基盤としながら、豊かな人間関係を育てる。

②異学年交流活動を通じた学校全体の関係づくり

年間を通して日常的に異学年が交流する場を設定し、本校のよき校風である学年を超えた人間関係を通して、相手を思いやり、よりよくかかわろうとする心を育てる。

(3) 健康でたくましい心と体づくり

①マイスクールスポーツのなわとびを通じた体力と集団づくり

年間を通して短なわ、長なわに取り組み、個々の技能や体力の向上図るとともに、お互いに励まし合いながら高め合える人間関係や集団を育てる。

②人材や施設を生かした運動経験の場の工夫

外部人材による専門的な指導や、校庭や体育館など限られた施設を最大限に生かせる場の設定や取組方法を工夫し、運動に取り組む意欲を高めるとともに、本校の課題である持久力や投力、柔軟性などの向上を図る。

4 目標達成のための取組

(1) 授業力・児童理解力・組織力の向上

①校内研究を通して、組織的な授業力や児童理解力の向上と人材育成に努める。

②全職員が全ての子どもの担任であるという意識をもち、共通理解のもとで連携した指導にあたる。

③教員個々の得意分野やよさを生かし、互いに協力しながら高め合える組織をつくる。

(2) 保護者・地域・学校の連携

①迅速かつ誠実で丁寧な対応に努め、保護者や地域の信頼を得ながら教育活動にあたる。

②分かりやすい情報発信に努め、共通理解を図りながら開かれた学校づくりに取り組む。

③PTA・地域行事への積極的なかわりを通して、保護者、地域と一体となって子どもを育てる。

受けとめ、寄り添い、ひと手間かけて丁寧に